

笠部、山下、下財地域で77区画の住宅開発計画

環境への影響懸念 山下自治会・大蔵班から要望



笠部地域の開発をめぐり、8月6日山下自治会館で「宅地開発工事説明会」があり、参加させて頂きました。

対象面積は1.1万m²

開発計画は、川西市笠部2丁目11番ブロックほか1万1365m²。戸建て住宅77区画、公園(市に帰属)。Cの住宅開発はC街区とされ、A街区・B街区の内容は不明です。事業主はたいせい住宅兵庫(株)、設計者は栄光開発、施行者は池下組。
笠部2丁目83番15地先、下財町100-1、山下町208番地先の造成工事は、今年10月頃～来年10月頃を工事期間(予定)としています。

治会館前から北（市道312号）
長954m 道路幅員 2.3~8m

工事車両は、国道173号線を迂回、「甘露寺北」の感知信号を左折(市道2210号・道路延長1823m 道路幅員 1.93~10.81m)して進入するとしています。(地図は、説明会配布資料より転載)

道路幅1.93mや2.3mしかない狭隘な処に工事車両が入ってくることへの地域の皆さんの不安は当然ですね

②造成工事と住宅建設工事の双方での支障について、開発地は道路がないため近隣宅用地を借用して進入路が作られるが、隣接する大蔵地域への影響、対策が不明。被害があつた時の補償を。現状確認を第3者に求める。居住者に高齢者が多く、たくさん工事車両・関係車両の通行は日常生活に危険が伴う。

説明者側の幹部は、下財町の道が狭いのでセットバックの協力を頂けたら、サービス付き高齢者住宅の誘致などについても言及しておられました。

この街区以外の計画は不明だが、造成工事両向は通行すると思われる。交通安全のための誘導員の配置は事業者の判断で行われる。

農地だった当該地が住宅地として大規模に開発されることで、環境への影響が懸念される——など詳細に記載されています。

たしかに日常生活に影響大

8月6日の説明会は、部屋一杯の参加者で埋まりました。下財町・山下町の方々が多く参加。不安や危惧の声があがりました。

主なものは、道路が狭い。山下自治会館前は車両が行き交うことができない。そんな道路に工事車両が入つて来る、造成工事だけではなく住宅建設、引越し業者、日常の宅急便など…。

私は(黒田)が住んでいる北陵地域のような
バスが走り、歩道もある地域でも、「県立特
別支援学校の造成・建設工事」の際は、きめ
細かく説明・検討されました。

工事車両だけでなく、働く方々の通勤車
両などの進入路、騒音・振動・排気ガスやほ
こりなどの影響、警備員の配置などについ
て「コミュニティや自治会あげての取り組み
となっています(現在進行形)。工事現場周
辺にお住まいの方は、さうに住環境への影
響を受けておられます。

高齢者やごじゅうじも達の安全・安心への不安、日常生活への影響は、この間の電気ガス工事の車両の駐停車だけでも自宅から出ることができなかつた——などが語られました。

住み慣れた住宅地での新しい開発は、しつかり情報を提供し、説明責任、対応・対策をしてほしい。強行する「こと」がないようにと願っています。